

## 静岡県社会体育施設指定管理者評価委員会による評価結果

令和5年9月14日  
静岡県スポーツ・文化観光部  
スポーツ局スポーツ振興課

### 1 趣旨

静岡県立水泳場、静岡県富士水泳場及び静岡県武道館については、平成30年度から第4期となる指定管理者による管理運営が行われています。

施設名	指定管理者	指定期間
静岡県立水泳場	静岡県スポーツ協会グループ	平成30年4月1日から 令和5年3月31日まで (5年間)
静岡県富士水泳場	静岡県富士水泳場マネジメントグループ	
静岡県武道館	静岡県スポーツ協会グループ	

※静岡県体育協会グループは令和2年度に静岡県スポーツ協会グループに名称変更

これらの施設における管理運営が、利用者サービスの向上と管理経費の縮減という指定管理者制度の目的を達成しているか、また、公の施設として条例に掲げる設置目的の達成に貢献しているか等について、客観的な評価を行うため、第三者の委員からなる評価委員会を設置し、委員会による評価を行いました。

### 2 評価委員会の実施について

施設名	実施日	内容
静岡県立水泳場	令和5年8月10日	指定管理者による事業実績説明
静岡県富士水泳場		質疑応答 指定管理者による事業実績説明について質疑応答
静岡県武道館		意見交換及び評価 意見交換後、委員ごとに評価を実施 評価・講評 委員会としての評価の決定及び各委員からの講評

(評価委員会) ◎=委員長、○=委員長代理

氏名	所属・役職
佐藤 克昭◎	佐藤経済研究所所長
川口 良子○	合同会社 デザイン・アープ 代表
竹田 利恵子	静岡県スポーツ推進委員連絡協議会 副会長
前田 恭伸	静岡大学工学部教授 (事業開発マネジメント系)
杉山 康司	静岡大学教育学部教授 (保健体育系)

### 3 評価について

以下の「評価の視点」「評価項目」に基づき評価を行いました。

評価の視点	評価項目		配点
○施設の管理運営を適切に行っているか ○競技力の向上及び指導者の養成を図るとともに、県民の健康増進とスポーツの振興に寄与しているか	①	経営管理	20
	②	管理運営体制	20
	③	利用者サービスの向上	20
	④	危機管理体制等	20
	⑤	求められる業務水準	20
計			100

### 4 年度評価結果について

評価区分は、「優」「良」「可」「要改善」の4段階で、各委員の採点の平均点に基づき決定しました。総合評価は各評価項目の得点の合計により決定しました。

施設名	静岡県立水泳場						
指定管理者名	静岡県スポーツ協会グループ						
評価	総合			優			
	評価項目別	評価項目	①	②	③	④	⑤
		得点	18	18	17	18	18
		評価区分	優	優	優	優	優
内 容							
主な評価点：良いと評価した取り組み等 提言：改善や一層の努力を求めたい点等							
主な評価点	<ul style="list-style-type: none"> <li>大会や合宿の誘致に努めるとともに、競技力向上やスポーツ振興などへの着実な展開が進められている。</li> <li>施設の魅力度アップに努め、館内掲示や美化など、職員の創意工夫を活かした取組みが促進されている。</li> </ul>						
提言	<ul style="list-style-type: none"> <li>光熱水費の急増から収支がマイナスに転じており、更に実効性ある収支改善の対策を講じるよう期待したい。</li> <li>グループ全体で、ICTを活用した利用者増加や、施設管理の見える化等への課題対応に取り組んでほしい。</li> </ul>						

施設名	静岡県富士水泳場						
指定管理者名	静岡県富士水泳場マネジメントグループ						
評価	総合			優			
	評価項目別	評価項目	①	②	③	④	⑤
		得点	19	19	19	18	19
		評価区分	優	優	優	優	優

<p>内 容</p> <p>主な評価点：良いと評価した取り組み等</p> <p>提言：改善や一層の努力を求めたい点等</p>	
主な評価点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者満足度の高い運営管理が行われ、県内外からの合宿などの利用が大きく増える好循環を生んでいる。</li> <li>・行き届いた清掃など快適な利用環境が整えられ、適切な危機管理による無事故の継続も高く評価される。</li> </ul>
提 言	<ul style="list-style-type: none"> <li>・光熱水費の効果的な節減対策と、施設全般の老朽化に伴う課題の情報共有化などを適切に進めてほしい。</li> <li>・隣接する宿泊施設や富士市のスポーツ施設との連携により、地域活性化の役割を果たす取組みを期待したい。</li> </ul>

施設名	静岡県武道館						
指定管理者名	静岡県スポーツ協会グループ						
評 価	総合		優				
	評価項目別	評価項目	①	②	③	④	⑤
		得点	18	18	18	18	18
		評価区分	優	優	優	優	優
<p>内 容</p> <p>主な評価点：良いと評価した取り組み等</p> <p>提言：改善や一層の努力を求めたい点等</p>							
主な評価点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロスポーツチームの大会誘致や、多彩な自主事業の取組みにより、収入がコロナ禍前の水準に回復している。</li> <li>・堅実な管理運営が遂行されており、館内清掃の徹底や、人身事故等の発生への対応も的確に行われている。</li> </ul>						
提 言	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点施設としての魅力づくりを進め、各施設の稼働率向上、利用者数の増加へ結びつけるよう期待したい。</li> <li>・職員対応や情報発信の改善に向けて、待遇・ICT研修の工夫、グループ会社の協力等による取組みが望まれる。</li> </ul>						

(評価区分)

評価区分	基 準	意 味
優	配点の85%以上	大いに評価できる
良	同 70～85%未満	評価できる
可	同 50～70%未満	普通
要改善	同 50%未満	改善を要する

【別紙】

<発言> ●委員 ○指定管理者 □県

【県立水泳場】

- 資料 2-1-11 「Ⅲ 管理運営体制-(1) スタッフ配置」について、計画と実績で配置人数が異なる役職（参事：計画1人・実績0人、主査：計画1人・実績0人）があるが、この体制で令和5年度も継続しているのか。
- 本年度からは参事という形ではなく、副場長（施設担当）として1名配置している。主査については0人のままである。
- 資料 2-1-26 「Ⅴ 危機管理体制-(2) 事故等一覧」について、藤枝東高校水球部の学生が低血糖と脱水症状により倒れてしまった件であるが、背景や原因について教えて欲しい。
- 前日から体調があまり良くなかったが、合宿だったため本人が無理をしてしまったこと、普段の練習が不足していたことが原因だったと推定される。
- トレーニング室の鏡の位置について、自身がトレーニングしている様子や状況を確認できない位置（背面）に鏡が設置されているのは勿体ないので、位置の変更を提案します。
- ご提案ありがとうございます。鏡の位置について検討していきます。
- 経営の観点から自主教室の充足率が低いことが気になるが、自主教室ごとに収入の目標金額を設定しているか。
- 目標金額の設定はないが、自主教室の充足率を上げることが収入増加に繋がるため、令和5年度から充足率80%を目指し、取り組んでいきたい。
- 県立水泳場は、水球に力を入れていくと伺っている。水泳連盟等関係団体と連携して、施設の稼働率と収益の向上を目指して欲しい。
- 承知した。
- 光熱費の高騰への対応について、こまめな消灯・節電等の取組は評価できるが、長期的な目線での対策はどういったものがあるか。
- 照明等のLED化の推進と水温・室温を効率的に維持する取組がある。
- 光熱費の高騰は県有施設共通の課題である。令和4年度は財政当局との調整の結果、各施設の状況に応じて指定管理料の増額を実施した。県立水泳場は、エネルギー供給源としてガス・灯油を併用しているが、ガスに比べて灯油は単価が安いので、上手く組み合わせて対応している状況である。県立水泳場は、今後エネルギー供給設備の更新を控えているが、現時点では現状の更新で考えている。
- ハードルは高いと思うが、太陽光発電設備の導入はいかがか。
- 現時点で太陽光発電設備の導入に関する具体的な議論や計画はないが、御提案いただいた内容について検討していきたい。
- 50m プールと飛び込みプールの水温はシステム上同時管理になっているとのことであるが、稼働率をみると大きな差があるので、余分に維持コストがかかっているのは残念である。
- 年に一度プールの水替えを行っているが、5年前から飛び込みプールの水については再利用している。これにより、水替えを実施するのに比べて、年50万円ほどコストを削減できている。
- 大会や合宿により一般利用の日が少なくなることについて、一般利用者から何か意見はあるか。
- 本件に関して、一般利用者から不満の声は特にない。
- トイレのバリアフリー化・改修を期待する。和式トイレが多い。

□本件については、県で検討させてください。

●若い職員の意見や静鉄プロパティのノウハウを上手く組み合わせて、SNS を駆使した広報に努めて欲しい。

○承知した。

●職員の研修メニューに ICT に関するものを加えたほうがよいと考える。

○承知した。

●高齢者の利用が多いため、今後も継続して事故防止対策に努めて欲しい。

○承知した。

### 【富士水泳場】

●無料送迎バスはどのように運用しているか。

○バスはリース契約を行い、運転手は指定管理者で雇用している。

●危機管理マニュアルについて、昨年度指摘させていただいた部分を含め情報がしっかり更新されたことは評価できる。一方で、情報量が多すぎて本当に職員が読まれているのか疑問である。直ちに変更を求めるわけではないが、今後内容の再整理やスリム化を図って職員が見やすく理解しやすいように改めるとよいと考える。

○承知した。

●目の不自由な方向けに音声案内を設置したことは評価できる。これに追加する形で、壁に点字を付けるとよいのでは。

○検討していく。

●自主教室の料金を値上げしたとのことであったが、このことについて利用者から何か意見はあったか。

○特になかった。半年前から市場調査を実施した上でこの料金設定としている。

●これだけたくさんの自主教室を実施している中で、地域に貢献できるコミュニティ的なものが作れるのではと思うが、何か考えやビジョンはあるか。

○未就園児の英語教室兼運動教室のようなものを検討している。また、富士総合運動公園全体の広い視野で捉えてコミュニティの構築ができないかと考えている。

●研修や指導はしっかりされていると思う。その上で敢えてのコメントとなるが、LGBTQ への配慮は何か実施しているか。

○ファミリートイレの名称を「誰でもトイレ」に変更したが、これからもっと考えていかなければならない。更衣室についてもどちらを利用すればよいかという問合せも多い。

●はっきり言って、こうした問題について行政は対応が後手後手になりがち。社会環境の変化に伴う新しい問題や留意すべき事項について、指定管理者から積極的に県に情報提供して欲しい。

○承知した。

●合宿等で来られた外国人の言語対応はどのようにしているか。

○外国語が話せる職員が複数おり、また通訳さんも随行しているため、コミュニケーションの部分で困ることはほとんどない。一方で文化の違い、例えば着替えに関して言えば、外国の選手は割とどこでも着替えてしまうため、そうした部分で困ることはある。

●隣にあるエスプラットフジスパークとの連携について教えてください。

○担当の方とよく連絡をとっており、当施設利用者の宿泊実績も増えている。今後より一層、宿

泊や飲食の面で密に連携を進めていく。

●今回は事前質問に関連してアンケートを提供いただいたが、次回は生データではなく、アンケートでこうした意見があったため、分析した結果、このような対策を実施していることが分かる資料の提供をお願いします。

○承知した。

### 【武道館】

●資料 2-3-18「IV 利用者サービスの向上-(1)利用者数推移」について、大道場等の各施設の利用と収入の相関性は分析されているか。

○県武道館の大きな収入源は、大道場の利用であり、大きな大会があると月間 300~400 万円ほどの収入がある。やはり相撲場の全体的な稼働率の低さ（特に夏季）が課題と認識している。第一・第二道場は武道専用で使用が限られているため、なかなか収益に結びついていない状況がある。

●年間を通した推移や分析をして、データを視覚的に捉えてことができれば、例えば比較の利用が少ない時期にその施設で新たに自主教室を当てはめる等、経営良化・収益アップに繋がると思う。

○承知した。

●トレーニング室と弓道場の稼働率について、コロナ前の水準（令和元年度）に戻ってきていない。キャパシティ的にもまだまだ伸びる余地があると思う。

○利用者増の取組に努めていく。

●トレーニング室の稼働率が上がらないのは、トレーニング機器の古さだと考える。また、機器の配置見直しや機器の説明書の設置も必要である。トレーナーがいないことも要因の 1 つだと思う。またここに来てトレーニングしたいと思える工夫が足りない。

○令和 5 年度中にコードレスバイク 5 台を新規購入予定であり、レイアウトの変更も行う。

●車を運転できない高齢者等のために、シャトルバスの運行は考えているか。

○今のところ、そのような案はない。

●ベルテックスの試合による収入はどのくらいだったか。

○ベルテックスの試合は 2 節 4 試合あったが、200 万円程度の収入があった。

●資料 2-3-7「II 経営管理-(6)光熱水費の推移」について、数年に渡り、トイレの漏水が原因で相当量余分に水道を使用していた件、なぜこうしたことが発生してしまったのか。

○数年に渡ってこうした状態が続いてしまったことは維持管理の欠陥であり、大変申し訳ありませんでした。異音確認時や漏水発見毎に点検を実施し、その後しばらくおさまってまた漏水するという事象が繰り返され、結果的に大規模改修が遅れてしまった経緯があります。通常漏水があると藤枝市水道部局から連絡があるのだが、この間は市から連絡がなかったことも原因の 1 つにある。

●承知した。累積すると相当の損失になってしまうため、管理の仕方に注意すること。

●研修計画の中で接客・顧客満足度研修があるが、水泳場との共通研修ではなく、施設の状況に合わせた内容で実施すべきだと考える。県立水泳場の際にも発言しているが、ICT に関するものを加えたほうがよいと考える。また、資料 2-3-8「II 経営管理(7)修繕実績」について、業者名に（株）NTT ファシリティーズが多いことが気になる。実務的な効率的はあると思うが、

変な疑問をもたれないように、資料や手続上の整理を行っておくとよいと考える。維持管理については、あまりにも属人化し過ぎないように十分配慮して欲しい。

○承知した。個人に頼り過ぎない、過度に負担がかからないよう、十分な体制を構築する。

●顧客満足度の向上は重要であるが、単純業務はシステム化、機械に任せられるとよい。

○承知した。

●事故を減らすにはどうしたらよいか、大会主催者や指導者、使用団体に対する注意喚起や研修等の働きかけを継続していくことが重要ということだろうか。

○そのとおりである。今後も地道に継続していく。

●アスリートの食事や栄養管理に注目した自主教室や研修プログラムがあると有意義かと思う。

○関心が高い分野であるため、何かしらの形で実施を検討していく。